

SSKO

NPO法人 共に歩む市民の会 会 報

共に歩む市民の会広報委員会
横浜市旭区鶴ヶ峰 2-2-4
☎045-453-8386

2023年7月25日 発行

<http://tomoni-people.net/>

共に歩む市民の会 第19回総会 理事長挨拶

～新しいほっとぽっとを皆さんと一緒に～

理事長 村岡福藏



現在工事中

本日は土曜日のお忙しい中、皆様にお集まりいただき感謝しております。来賓といたしまして区役所高齢障害支援課の國分課長様、区社協の半田事務局長様、そして地域から鶴ヶ峰地区連合会長の峯宇様、地区社協会長の佐藤様にお越しいただきました。

峯宇様にはほっとぽっと運営連絡会の会長もお務めいただいております。昨年、2年ぶりに運営連絡会の開催をしていただいたところでは。

まだ油断はできませんけれども、丸3年続きましたコロナパンデミックもようやくトンネルを抜けたかなと、少し私共もほっとしているところです。

昨年一年は法人にとって、とても大きな一年になったと言えます。念願のほっとぽっと移転につきまして、大変にご理解のある

オーナー様に巡り合え、現在鶴ヶ峰駅南口に近いところで新しいほっとぽっとの建築工事を進めていただいております。

オーナー様とは複数回の話し合いがございましたが、国分課長様からは「行政と二人三脚で進めている事業なので安心してください」と、とても心強いお言葉をいただきました。またその後、鶴ヶ峰地区連合へのご説明、近隣の自治会へのご説明にあたりまして峯宇連合会長、佐藤地区社協会長に大変お力添えをいただきました。そういった中で本年10月の移転予定で進めているところです。皆様に改めてこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

古くからの会員の皆様にとりましては、共に創り上げてきた「ほっとぽっと」の移転という事で一抹の寂しさはあろうかと思いますが、新しいほっとぽっとで新たな場所で、また皆様のお力をお貸しいただければと、どうぞよろしくお願いいたします。

もう一つ、昨年10月に上白根町に法人として初めてのグループホームを開設いたしました。それまでは行政からいただく補助金で、生活支援センターという一事業所を運営してきた法人ですが、支援の輪を広げていきたいという思いで、法人として初めて自前の事業所を開設しました。大変な責任を負ったという風にも感じております。正直まだまだ運営的には厳しい状態が続いておりますけれども、安定軌道に乗せるべく頑張っていきたいと考えております。

そういう意味では、この一年が法人にとりましても文字どおり大きな意味を持つ年になると思っています。引き続きのお力添えをお願いいたします。

今年は第19回総会ということで、来年は節目の20年目を迎えます。この旭区の地で当事者、ご家族、支援者の皆様と手を携えて進んでいきたいと思っております。

「語らい電話」ありがとうございました！

23年間という長きにわたり続いてきた語らい電話でしたが、近年の実施状況や移転後の施設の関係等から、残念ながら5月31日をもって終了させていただくという判断をしました。共に歩む市民の会は、総会当日、第2部として、ボランティアの皆さんにご出席いただき、感謝状と記念品をお一人ずつお渡しさせていただきました。その後お一人ずつ思いを語っていただきましたのでここにご紹介します。



- 語らい電話というのは私の経験の中で非常にプラスになった。電話をかけてくる方は大体決まった方でしたが社会的にはある程度、奉仕できたのかなと自負しています。
 - 井戸端会議が好きだから23年間、続けられたのかなと思います。2000年からずっとお電話くださっている方も3人います。自分自身も当事者の方から勇気をもらうこともできました。だから続けられたのだと思っています。
 - 学ばせていただきました。今の世の中病んでるなと自分も含めて思います。個人の問題だけではない。
 - それまでは人の話を聞かない日々でしたが、語らい電話で活動してどんな言葉を投げかけたらいいのかとも考えるようになりました。いい経験でした。
 - 聞いてくれる人がいるだけでとてもうれしいという言葉をよくいただきました。こういうことをしていなければ知り合えなかった人たちと知り合えたことに感謝です。
 - 人の話を聞くことの大切さを実感しています。その日の活動が終わるとき、職員が温かく迎えてくれるのがうれしくて、それが長く続いた要因だと思います。
 - 最初の頃は心が折れることもありました。話を引きずってしまい、ここを出たら忘れていいんですよと言われてもそれができませんでした。でも続けていくうちにどんどんと図々しくなってきた、色々とお教わることが増えてきました。相手への言葉遣いなど、身をもって学ぶことができました。
 - 語らい電話終了の手紙をもらい、感慨深いものがありました。これが終わるとこれ一筋に生きてきた当事者はどうなるのかと。もうすでに何年か前に辞めてしまった私が言うのもなんですが、出来れば続けてほしかったと切に思います。
 - 当事者の方の色々なお話を聞きながらとても勉強になりました。声だけですが友達ができて、楽しい思い出もさせてもらいました。
 - 語らいで先輩方の受け答えを聞き勉強になりました。ここで得たことが今も他の活動で役に立っています。
 - 先日、どこにもつながっていない方を語らい電話にご紹介しようと思っていたら語らい電話自体が終わると聞き、貴重な社会資源がなくなることに寂しさを感じました。
 - 語らい電話の始まりを思い起こしておりました。生活支援センターが設立されようかという頃、どういったサービスを受けたいかとアンケートを取ったところ、お家へ帰ってご飯を食べた後にほっとして誰かと話をしたい、そんなときにぱっと電話ができる場所があったらいいなということでした。電話相談ではなくてだれかと話をしたいなと思ったときに電話ができる、そんな場所があったらいいなという事で皆さんに声をかけて、ボランティア講座を始めたのが最初でした。
 - 相談電話じゃないんです。お話がしたいんです。気楽に話すことができたらいいんです。そんな当事者の方の声から始まりました。世間一般にあるような相談電話ならいい。ただお話ししたい。お話電話が欲しい。それが当事者の方の声でした。
- ※皆様との楽しい時間はあっという間に過ぎ、今後とも形は違っても皆様とつながり続けることができますようにと願いつつ会はお開きとなりました。

【 ほっとぽっと通信 】

旭区生活支援センターほっとぽっと施設長 田中梨奈

ほっとぽっとの移転について(概要説明)

ほっとぽっとは今年で創立19年目。任意団体活動開始から26年。まさにごった煮の鍋のごとく、何かが始まる希望と主体的参加の意思をもった人々の熱が結集して誕生しました。時を経て人も制度も変化し、本館・別館も築40年を超え、安心と安らぎ、そして可能性を広げる運営を求めて移転をすることになりました。新ほっとぽっとは、A型のセンターと同じくらい広い新築2階建1棟をお借りします。現在建築工事は順調に進んでおり9月完成予定、10月7日(土)～9日(月)引越し予定です。10月中旬には内覧会を予定していますので、会員の皆さまもぜひお越し下さい!

(1) 住所 旭区鶴ヶ峰1丁目29-1 鶴ヶ峰駅南口より徒歩6分程度

敷地面積 476.94㎡

(2) 建物 木造2階建 面積 1階:222.86㎡ 2階:225.13㎡ 計 447.99㎡

*設計は、横浜市の施設基準やバリアフリー法に沿って細かく決められています。

1階→事務室、地域交流室、相談室2室、静養室、書庫、防災倉庫、トイレ、多目的トイレ

2階→フリースペース(食堂、談話室)調理室、事務室、静養室、洗濯室、浴室、脱衣室、トイレ

(3) 変更点

- 館内禁煙 喫煙所はありません。
- 電話番号・FAX番号が変更になります。法人電話番号は変わりません。
- バリアフリーで、エレベーター・多目的トイレがあります。
- 浴室2室・洗濯機2台に増えます。
- ソーラーシステムがあります。
- 移転準備のため、フリースペース利用・プログラム・貸館・ピア活動などに変更があります。



【 メゾンほっと通信 】

メゾンほっと 管理者 ^{みながわ} 源川俊介

2022年10月に開所し職員体制や入居者選考が難航した為中々空き室が埋まらない状況が続きましたが6月より入居者が決まり始め、7月に体験利用予定の方が入居すれば満室となる予定です。皆様にはご心配をお掛け致しましたが、利用者様が地域で安心して生活できる場所となるよう支援できればと考えておりますので今後ともよろしくお願ひ致します。

【第89回臨時理事会報告】

◇日時 2023（令和5）年4月8日（土） 午後2時～
◇場所 旭区生活支援センターほっとぽっと 別館 サロン
審議事項
（1）法人本部への負担金に関する承認について

【第90回理事会報告】

◇日時 2023（令和5）年4月27日（木） 午後6時30分～
◇場所 旭区生活支援センターほっとぽっと 別館 サロン
報告事項
（1）令和4年度監査結果について（指摘事項）

審議事項

- （1）共に歩む市民の会の定款の改訂について
- （2）第19回通常総会議案書について
- （3）旭区生活支援センターほっとぽっと移転関連について
- （4）グループホーム「メゾンほっと」関連について

寄付のお願い

生活支援センター移転という一大事業を前に皆様に伏して寄付のお願いをさせていただきます。
振込先：横浜銀行 鶴ヶ峰支店 普通 1705269 特定非営利活動法人共に歩む市民の会
代表者 村岡福藏
郵便振替口座 00280-6-132476 特定非営利活動法人共に歩む市民の会
※ 今回振込用紙を同封させていただきました。

市民の会・ほっとぽっと・メゾンほっとより

・市民の会から理事交代のご案内

退任：浅田 和徳 紺野 義彦 **新任**：河野 正男 秋田 正行

・ほっとぽっとより ピア活動変更についてお知らせ ～ 窓口当番は、移転後今のスタイルでの継続が困難なため6月末で終了しました。フクロウ電話は7月より週1回金曜日20時～22時の実施となりました。

※ 常日頃からの法人へのご協力に感謝いたします。

4月～7月までに寄付をいただいた方（敬称略）

金品寄付：高幡勇 富永久雄 島崎聡守 岩淵勝昭 郡山隆行 コウノタカコ 曾我新吉 福田敏克
小澤清子 伊達和子 吉田和子 武井豊水 倉田初枝 阿部祐介 秋葉節子 杉本紀久雄 岩井美穂
西村智子 宮川博 瀧澤久美子 松元紀子 宇田達夫 武田浩司 川田剛 徳久和彦 岡林郁子
志澤希久子 丹羽真理 望月真奈美

編集後記：いよいよほっとぽっと移転の 때가近づいてきています。毎週行われる移転ミーティングでも活発な意見が飛び交っています。新しい革袋には新しい酒を入れろと言われますが、ほっとぽっとの新しい酒はどのように熟成していってくれるのでしょうか。楽しみです。 國井

編集人（第67号）
〒241-0022 横浜市旭区鶴ヶ峰2-2-4
NPO法人共に歩む市民の会 広報委員会
定価 50円
低料第三種郵便物の認可を受け、SSKO（副題 NPO法人共に歩む市民の会会報）として発刊します。

発行人
〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷3-1-17
ヴェルドゥーラ祖師谷102
特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会